

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム大喜

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 1 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事の際の雰囲気が静かすぎて、あまり良い雰囲気ではない。	食事の際の雰囲気を活気があり、良いものにしていく。	職員も一緒に同じものを食べており、その際に入居者さまに食事について声かけなどしていく。	12ヶ月
2	49	利用者の外出が限られている。	外に出る機会を増やしていく。	定期的に外出イベントを予定したり、散歩や買い物などの日常的な外出も積極的に行っていく。	12ヶ月
3	10	家族からの意見、要望が少ない。	家族からの意見、要望があがるようにしていく	ご家族と積極的にコミュニケーションをとり、ホーム運営についての意見や要望を聞くようにする。	12ヶ月
4	4	同じご家族の参加が多い。	同じご家族だけでなく、他のご家族も参加して頂けるようにする。	参加されていないご家族様にも、参加できるような日時設定や、ホームに見えた際にお問い合わせをしていく。	12ヶ月
5	35	地域の方にホームの現状を知って頂き、利用者の安全な避難方法が必要。	地域の方も参加した避難訓練を実施して、避難方法を検討する。	地域の方も参加した避難訓練を実施をして、その後どうやったら安全な避難ができるかを検討する機会を作る。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。